

#### 令和4年度第3号

編集·発行 弥彦村教育委員会
TEL(0256)94—1021 FAX(0256)94—3232
E-mail kyouiku@vill.yahiko.niigata.jp
〒959-0305 西蒲原郡弥彦村大字矢作 402 番地

弥彦を愛し、夢や志をもってつながりを広げる強くたくましい子ども

#### 「粘り強さ」が付いてきた・・・

~学校・家庭・地域が一体となった取組が欠かせません~

弥彦村教育長 林 順一

先日、卒業式の式辞で、弥彦中学校の河井校長先生が、卒業生に「**粘り強さ**が育っている」 と話されました。私はそれを聞き、とてもうれしく思いました。

これからの社会は、人口減少や少子高齢化の進展、AI発達など、大きな変化が予想されています。そこで、子ども達には、確かな学力とともに、**粘り強さや仲間と協力する力といった「非認知能力」**も身に付けることが大事だと考えています。「非認知能力」育成は、最近、注目されており、幼児期等で身に付けることが、将来の社会での活躍につながるとの成果も発表されています。

村では、次の5つを重点にして育成に努めています。一部を紹介します。

- ① **家庭の教育力**:家族の愛が子育ての軸です。あいさつや食事のマナーなど、いわゆる躾(しつけ)にあたる部分は、家族で話し合いかかわり合うことが大切です。なお、公民館では子育て講座を実施しています。子育て支援センターも活用ください。村HPの「すこやか やひっ子」は見られましたか?
- ② **幼児教育の充実**: 各保育園では青陵短期大学附属幼稚園の小嶋副園長の保育指導の機会をもち、保育環境など協議し合い指導力向上に努めています。また、5・6歳児は、新潟医療福祉大学健康スポーツ学科佐近准教授による体力向上運動に取り組みました。幼児の嬉々として運動する姿が印象的でした。
- ③ **地域の教育力**: 小学校内にスクールサポーターの居場所(みんなのいなばしょ)を設置しました。来年度、「セーフティスタッフ」の皆さんはスクールサポーター見守り隊として活動されます。今年度、4年ぶりの子ども燈籠押しも実施できました。「やひこえほんの会」の皆さんの人形劇は圧巻でした。地域の皆様に感謝です。
- ④ 保小中一貫教育:「保育園・小学校連携教育」並びに「小中連携・一貫教育」に取り組みました。小中の先生方は、上越教育大学の清水雅之教授による一人1台端末活用や、福島大学教育学部佐藤佐敏教授による国語力向上の研修に一緒に取り組み、子ども達の指導に活かしています。
- ⑤ 相談体制の強化: 昨年10月に村のSSW(スクール・ソーシャル・ワーカー)は、長田美智留さんから熊倉真弓さんに交代しました。熊倉さんは月3回位、小学生から高校生並びに保護者を対象に相談に当たります。希望の際は教育委員会に連絡ください。各保育園では、村の認定心理士や民間療育施設の指導員による巡回相談を実施しています。

子どもが育つ上で「よい環境」とは、多くの大人のかかわりがあることと言われています。保育園や学校、家庭、そして地域がスクラムを組んで子どもにかかわる弥彦村にしていきましょう。

# ~これまでの取組紹介~

## 1家庭の教育力

少子化や核家族化、急速な情報化の進展など、子どもと子育てをめぐる環境が大きく変化し、子育てが益々難しくなっています。「すこやか やひっ子」は、子育てに役立つ情報等を掲載しています。URL と QR コードを掲載しますので、ぜひページを開いてみてください。



「すこやか やひっ子」の掲載内容の一部を紹介します

- ① 子どもの睡眠・・・望ましい睡眠とは
- ② 子どもの生活リズム・・・「早寝・早起き・朝ごはん」を中心に
- ③ 乳幼児の行動の変化と成長・・・子どもの成長過程を分かりやすく
- ④ 食育・・・食事を通して子どもに身につけさせたいこと
- ⑤ 幼児期の運動遊び・・・運動の重要性について知り日頃から取り組む
- ⑥ 歯の健康・・・歯の健康、歯みがきに関する正しい理解
- ⑦ SNSについて・・・親が知ることで問題の未然防止
- ⑧ 不登校・・・未然防止・早期発見・解決のために
- 9 発達障害・・・発達障害に関する正しい理解と対応

URL→ https://www.vill.yahiko.niigata.ip/education\_yahikko/



QR ⊐ード↓



# ②幼児教育の充実

第1号でも紹介しましたが、今年度、新潟医療福祉大学健康スポーツ学科佐近准教授による体力向上運動に取り組みました(右写真)。子どもたちは、遊びを通して、体を動かすことの楽しさを感じたようです。

そして今期も生き生きと活動する子どもの姿がたくさ ん見られました(下写真)。



両足連続飛び越し



クリスマス会 ひかり保育園



豆まき 弥彦保育園



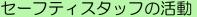
ひな祭りの集い 二松保育園

## ③地域の教育力

セーフティスタッフの皆様からは平成 18 年より、児童生徒の登下校を見守っていただき ました。来年度から、より安全安心な活動となるようボランティア保険にも加入し、スクー ルサポーター(見守り隊)として活動いただきます。

小学校にスクールサポーターの居場所(みんなのいばしょ)を設置し、学校支援者バッジ も作成しました。来年度から、スクールサポーターの居場所を定期的に開放し、地域ととも にある学校づくりをより一層進めていきます。







スクールサポーター居場所の様子



学校支援者バッジのデザイン 中学校美術部作成

#### 物語に浸って弥彦小で創作人形劇



子どもたちに物語を 味わう楽しさを伝えた 向き、読み聞かせや人 驚いた。面白かった」 いと、弥彦村の有志ら 形劇の披露を続ける。 でつくる「やひこえほ んの会」が、弥彦小学校 員11人が「ジャックと 盗まれた物を取り返 で創作人形劇を上演し 豆の木」を3回公演し、 た。劇中、会員が登場人 物にふんして出演する 学年別に観賞した。3 コミカルな展開で児童 年生向けでは会員が の笑いを誘い、夢あふ れる童話の世界に引き 込んだ=写真=。

し、現在は男性2人を 含む20~70代の16人で 構成。弥彦小や村内保 育団・子育て施設に出

1~3年生約170人が 「大男」役になり切って 登場すると笑いが起 き、人形のジャックを 同会は1995年に発足 大男が追う場面では い」と話した。

「気を付けて」「逃げ て一」と声援が飛んだ。

3年の荒木瑛迅君 (9)は「人間が演じて と満足顔。丸山瑠菜さ 弥彦小では16日、会 ん(8)は「ジャックが し、平和になって良か った」と楽しんでいた。 やひこえほんの会の

高橋暁子代表(77)は 「若いメンバーが加わ り、活気づいた。子ど もたちの感性を育てた

新潟日報 令和5年2月27日の記事(やひこえほんの会の皆様ありがとうございました)

## 4保小中一貫教育

今年度も、保・小の先生方、 小・中の先生方で定期的に研修 や情報交換を行い、きめ細やか に連携してきました。



小中学校先生方の研修の様子



## 5相談体制の強化

#### 新しい SSW を紹介します!



35年間、小学校や特別支援学校の教員をしていました。3年前に早期退職をしてからは、夫と二人の息子、12歳の柴犬と、趣味の時間を楽しみながら生活しています。

この度、「チーム弥彦」の仲間入りをしました。 「つなぐ」「ささえる」「まもる」をキーワードに、 子どもたちの笑顔のために、一緒に活動していき ます。

卒業期や学年末から学年始めに向かうこの時期、子どもたちはまとめや振り返りをすると共に、新たな抱負や希望を抱く大切な時期です。一方で、環境の変化に伴う不安や緊張感から、不安定になりやすい時期ともいえます。子どもたちの言動や表情に心を向けていきましょう。よろしくお願いします。

#### SSW Ent?



SSW (スクール・ソーシャル・ワーカー) とは、子どもの日常生活での悩みや学校・家庭内での問題に対して、家族や学校の先生、関係機関と連携を取りながら解決のための支援をします。

<具体的な業務>

- 支援を必要とする子どもの置かれた環境への働きかけ
- 関係機関とのネットワークの構築、 連携・調整
- ・学校内でのチーム体制の構築、支援
- 保護者、教職員らに対する支援・相談・情報提供
- ・教職員らへの研修活動

## その他にも多数の取組をしてきました

上原理学科



7月から9月にかけて小5・6、中3を対象に学習指導を行いました

#### CAPプログラム



小5・中1の児童生徒と保護者、 小中教職員で子どもへの暴力防止 について学びました

国際交流



ウイルス禍のため、大人のみの交流となりましたが、モンゴル国のエルデネ村と交流しました



有識者を招いて、今後の中学 校部活動について学んだり意 見交換したりしました

令和4年度の活動も、 皆様の支えがあって、1 年間行うことができました。深く感謝を申し上げ ますとともに、来年度も よろしくお願い申し上げ ます。

